

ボット設定の「やり直し」を削減—chai+、複製機能と学習精度向上で AI 運用を効率化

デフィデ株式会社（東京都港区赤坂 2-4-6、代表取締役：山本 哲也）は、法人向け RAG・AI エージェント「chai+」の 2026 年 9 月アップデートを実施しました。今回のアップデートでは、既存ボットの設定を活用できる複製機能をはじめ、Web サイト学習時に取り込めなかった URL を自動で再学習する機能、FAQ 生成時の参照情報取得の改善、プロンプトテンプレートの拡充などを実施。部門別・用途別に複数の AI ボットを展開する際に発生しやすい設定の作り直しや、学習データの確認・再調整といった運用負荷を抑え、企業が生成 AI を継続的に活用しやすい環境を強化しました。

chai+は、社内規程、マニュアル、商品資料、Web サイトなどの社内外ナレッジをもとに、企業ごとの業務に特化した回答を行う法人向け RAG・AI エージェントです。複数のチャットボットを一つの管理画面で運用できる一方、活用範囲が広がるほど、用途ごとのボット設定や学習データの更新・確認といった運用作業をいかに効率化するかが重要になります。

今回のアップデートでは、AI の回答機能そのものだけでなく、管理者が日常的に行う「作る・学習させる・調整する」という運用プロセスを効率化。生成 AI を一度導入して終わりではなく、社内で横展開し、継続的に育てていくための管理機能を強化しています。

■既存ボットを複製し、似た用途の設定をゼロから作り直す手間を削減

生成 AI の社内活用が進むと、「人事向け」「情報システム向け」「営業向け」「顧客問い合わせ向け」など、部門や用途ごとに複数のボットを展開するケースが増えていきます。その際、基本設定や回答方針が似ていても、新しいボットを一から設定し直す作業が管理者の負担になります。

今回のアップデートでは、既存のボット設定をベースに新しいボットを作成できる複製機能を追加。すでに運用している設定を活用して用途別のボットを展開できるため、同じ設定を繰り返し入力する手間を減らし、ボット作成を効率化します。

これにより、まず一つのボットで運用方法を固め、その設定をもとに別部門・別用途へ横展開するといった段階的な AI 導入を進めやすくなります。

■取り込めなかった URL を自動で再学習。Web サイト学習の確認・再実行を省力化

Web サイトをナレッジとして定期学習する場合、一度の処理ですべての URL を取得できず、一部が未学習として残ることがあります。従来は、管理者が学習状況を確認し、必要に応じて追加対応することが運用上の負担になり得ました。

9 月アップデートでは、スケジュール学習の完了後に未学習の URL を自動で確認し、対象 URL が残っている場合には自動的に再学習する仕組みを追加しました。一度の処理で取得できなかった情報も追加学習されるため、Web サイトの情報をより確実にナレッジへ取り込みやすくなります。

定期的に更新される製品サイト、社内ポータル、FAQ サイトなどを学習対象とする企業にとって、学習漏れの確認や手動での再実行を減らし、最新情報を AI へ反映する運用を支援します。

■FAQ 生成・プロンプト設定も改善。回答品質を保ちながら管理作業を効率化

AI ボットの運用では、データを登録するだけでなく、「どの情報を参照させるか」「どのような方針で回答させるか」を継続的に調整する必要があります。ボット数が増えるほど、この設定作業の標準化も重要になります。

今回、FAQ 生成時に参照する情報が適切に反映されるようコンテキスト取得処理を改善したほか、ボットの回答ルールなどを設定するプロンプトテンプレート機能も拡充しました。テンプレートを活用することで、回答方針を設定しやすくなり、ボット作成・設定の効率化につながります。

また、公開前検証を有効にした場合でも、フォルダ構成を持つ学習データを適切に参照できるよう改善するなど、実運用での安定性・使いやすさを高める改修も行っています。

■管理コンソールのメール認証を追加。運用効率だけでなく管理面も強化

企業で生成 AI の利用範囲が広がるほど、管理コンソールへのアクセスを適切に保護することも重要です。9 月アップデートでは、多要素認証に会社のメールアドレス宛へ認証コードを送信する「メール認証」を追加しました。

Authenticator アプリや電話番号による認証に加え、スマートフォンを使用せずメールで本人確認できる選択肢を用意することで、企業の利用環境に合わせた管理が可能になります。

このほか、汎用ボットのガードレール強化、問い合わせログへのチャット日時表示、質問の取り消し機能、ボイスボットのフィラー応答や会話開始時の発話改善など、日常利用の操作性と安定性を高めるアップデートも実施しました。

■「導入する AI」から「社内で増やし、育てられる AI」へ

chai+は、PowerPoint、Excel、Word、PDF、TXT などの資料や Web サイトを登録し、企業固有のナレッジを参照して回答する法人向け RAG・AI エージェントです。部門別・用途別に複数のボットを作成し、一つの管理画面で運用できます。

生成 AI の企業活用が PoC や一部部門での利用から全社展開へ進むにつれ、重要になるのは「AI を作れること」だけではなく、管理者が無理なくボットを増やし、情報を更新し、回答品質を維持できることです。

デフィデ株式会社は今後も、ボット構築時の設定作業、学習データの更新、回答品質の改善といった運用負荷を減らし、専門的な AI 知識を持たない担当者でも継続的に活用できる生成 AI 基盤として chai+の機能強化を進めてまいります。

■デフィデ株式会社について

会社名：デフィデ株式会社

所在地：東京都港区赤坂 2-4-6-6F

代表者：山本 哲也

事業内容：戦略 AI コンサルティング／生成 AI 基盤構築支援／社内業務クラウド（SmartOps）／RAG 型 AI チャットボット・特許取得（chai+）／HR Tech（JOB Scope・生成 AI ワークバリュー・スコア分析・HR キャピタルダッシュボード）

Web サイト：<https://www.defide-ix.com/>

主なサービス一覧：

SmartOps（業務改革 AI プラットフォーム）：<https://smartops.jp/>

chai+（RAG 型 AI チャットボット・特許取得）：<https://lp.chatbothub.ai/>

chai+ Full Duplex AI ボイスボット（特許取得）：<https://lp.chatbothub.ai/voicebot>

JOB Scope（タレントマネジメント）：<https://jobscope.ai/>

生成 AI ワークバリュー・スコア分析（特許取得）：<https://jobscope.ai/ai-survey/>

HR キャピタルダッシュボード（JOBSCOPE
ISO30414）：<https://jobscope.ai/hrcapital/>

AI Future Talks：<https://www.defide-ix.com/ai/ai-future-talks>

JOB Scope マガジン：<https://marketing.jobscope.ai/media/>

【メディア・記者向けお問い合わせ先】

デフィデ株式会社 広報担当

Email：SalesRep@defide-ix.com

TEL：03-6551-2921

URL：<https://www.defide-ix.com/>